

PDCA医療クオリティマネージャー養成

<p>現状と問題</p> <p>【ニーズ】 医療技術の高度化や国民意識の変化により、安全管理・感染制御を含む医療の質を適正に評価・確保していくことが求められている 【実情】 ・大学病院等の高度医療機関では、医療の質の評価と公表がほとんど進まず、国民の期待に充分応えていない ・医療機能高度化を支える病院組織マネジメントが確立されていない ・組織横断的な質改善・安全確保の継続的な取組が不足</p>	<p>養成する能力の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ①医療の質評価に必要なデータの収集・分析能力 ②質改善プログラムの設計と運用実践能力 ③これらを実現する組織連携を構築するマネジメント力とリーダーシップ 	<p>本事業の教育プログラムの特徴</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; background-color: #d0c0ff; padding: 5px;"> 新規性 <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理、感染制御によって失敗を未然に防ぐという範囲にとどまらず、幅広く医療の質を「プラス」に評価できる人材を育成 ・医療の情報化の進展とともに急速に増大する医療データの高度利用を担える人材を育成 ・PDCAの実践を通して生きた知識を身につけ、大規模組織を有機的に機能させる病院組織マネジメントを担える人材を育成 </td> <td style="width: 50%; background-color: #ffccbb; padding: 5px;"> 独創性 <ul style="list-style-type: none"> ・附属病院に設置されるクオリティ・マネジメント・センターと有機的に連携して、実践的な医療改善プログラムからの生きた体験を通した教育プログラム ・大学院大学の特色を活かし大学院講義を積極的に活用 </td> </tr> </table>	新規性 <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理、感染制御によって失敗を未然に防ぐという範囲にとどまらず、幅広く医療の質を「プラス」に評価できる人材を育成 ・医療の情報化の進展とともに急速に増大する医療データの高度利用を担える人材を育成 ・PDCAの実践を通して生きた知識を身につけ、大規模組織を有機的に機能させる病院組織マネジメントを担える人材を育成 	独創性 <ul style="list-style-type: none"> ・附属病院に設置されるクオリティ・マネジメント・センターと有機的に連携して、実践的な医療改善プログラムからの生きた体験を通した教育プログラム ・大学院大学の特色を活かし大学院講義を積極的に活用 		
新規性 <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理、感染制御によって失敗を未然に防ぐという範囲にとどまらず、幅広く医療の質を「プラス」に評価できる人材を育成 ・医療の情報化の進展とともに急速に増大する医療データの高度利用を担える人材を育成 ・PDCAの実践を通して生きた知識を身につけ、大規模組織を有機的に機能させる病院組織マネジメントを担える人材を育成 	独創性 <ul style="list-style-type: none"> ・附属病院に設置されるクオリティ・マネジメント・センターと有機的に連携して、実践的な医療改善プログラムからの生きた体験を通した教育プログラム ・大学院大学の特色を活かし大学院講義を積極的に活用 					
<p>原因考察と課題設定</p> <p>【前提となる考え方】 医療の質管理における総合力には以下が必要 ①データ分析能力、②質改善実践能力 ③マネジメント力とリーダーシップ 【原因考察】 日本では①の教育は徐々に充実しているが、②は不足し、③の必要性は認識されているが不十分である。 【課題設定】 ①②の能力を備えて、高度急性期病院における組織横断的医療の質保証プログラムPDCA(Plan, Do, Check, Actの反復による医療の質の改善手法)の実践を担うとともに、③を備えて病院組織マネジメント改革を担う人材の養成</p>	<p>教育プログラムの構成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; background-color: #ffffcc; padding: 5px;"> <1>クオリティマネジメントのためのデータ分析手法の習得 PDCA手法、医療データ分析手法、安全管理および感染制御の実務に関する体系的講義と演習 </td> <td style="width: 25%; background-color: #cccccc; padding: 5px;"> <2>PDCAを用いた実践的教育プログラム 質改善PDCA ・質改善指標の選択、プログラム設計、効果測定、総括の演習 安全管理PDCA ・安全管理指標の選択、プログラム設計、効果測定、総括の演習 感染制御PDCA ・感染制御指標の選択、プログラム設計、効果測定、総括の演習 </td> <td style="width: 25%; background-color: #cccccc; padding: 5px;"> <3>大学院MMAコースで体系的な知識を習得 【医療の質評価分野】 【安全感染管理分野】 【情報分析分野】 【組織管理分野】 </td> <td style="width: 25%; background-color: #ffccbb; padding: 5px;"> <4>ワークショップ 成果発表・総合討論 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">実践的教材</p> <p style="text-align: right;">国立大学法人へ</p> <p>附属病院 クオリティマネジメント・センター <平成27年度に新規設置></p> <p>○各種診療科連情報を集約し、医療の質保証と病院マネジメント改革のためのエビデンスを提供 ・院内各部門よりデータを収集し、分析 ・各診療科と連携して臨床指標を活用した医療の質保証のPDCAを実施 ・医療安全・感染制御部門と連携しデータ分析に基づくPDCAの実施</p> <p>センター長</p> <p>データ分析室 臨床指標・PDCA推進室 安全管理部門 感染制御部門</p> <p>PDCA PDCA PDCA</p> <p>各診療科 安全管理対策室 感染制御部</p> <p>教員の連携 実践的な人材養成のためのフィールド提供</p> <p>事業推進・実施・評価体制</p> <p>外部評価委員会 2016年度(中間評価) 2018年度末(総括評価)</p> <p>学長 教育担当理事 医療担当理事 推進委員会 委員は各関連部門長 実務担当部門 各診療科 安全管理対策室 感染制御部 医療行政当局 関連医療機関 総務部 学務部 医学部附属病院事務部 教育委員会 医療情報部 保険医療管理部</p> <p>大学院修士課程 医療政策管理学(MMA)コース 科目等履修 医療管理学コース 医療政策学コース</p>		<1>クオリティマネジメントのためのデータ分析手法の習得 PDCA手法、医療データ分析手法、安全管理および感染制御の実務に関する体系的講義と演習	<2>PDCAを用いた実践的教育プログラム 質改善PDCA ・質改善指標の選択、プログラム設計、効果測定、総括の演習 安全管理PDCA ・安全管理指標の選択、プログラム設計、効果測定、総括の演習 感染制御PDCA ・感染制御指標の選択、プログラム設計、効果測定、総括の演習	<3>大学院MMAコースで体系的な知識を習得 【医療の質評価分野】 【安全感染管理分野】 【情報分析分野】 【組織管理分野】	<4>ワークショップ 成果発表・総合討論
<1>クオリティマネジメントのためのデータ分析手法の習得 PDCA手法、医療データ分析手法、安全管理および感染制御の実務に関する体系的講義と演習	<2>PDCAを用いた実践的教育プログラム 質改善PDCA ・質改善指標の選択、プログラム設計、効果測定、総括の演習 安全管理PDCA ・安全管理指標の選択、プログラム設計、効果測定、総括の演習 感染制御PDCA ・感染制御指標の選択、プログラム設計、効果測定、総括の演習	<3>大学院MMAコースで体系的な知識を習得 【医療の質評価分野】 【安全感染管理分野】 【情報分析分野】 【組織管理分野】	<4>ワークショップ 成果発表・総合討論			